



平成26年3月25日
海上保安庁

問い合わせ先

海上保安庁海洋情報部技術・国際課
火山調査官 伊藤 弘志
電話 03-5500-7122

西之島の火山活動の状況（3月24日観測）

3月24日、羽田航空基地所属航空機（MA725 みずなぎ）により、西之島の火山活動の観測を実施した。

1. 噴火の状況

北側の火口の西側に、新たな火口が形成されているのが認められた。新たな火口では灰色の噴煙が30分に一度程度の間隔で噴出していた。これまで主に活動していた南側の火口及び北側の火口からは、それぞれ薄褐色及び白色の噴煙が盛んに噴出されていた。

付近航行船舶へは、引き続き航行警報により注意を呼びかけている。

2. 新たに形成された陸地の状況

流出した溶岩により、新たに形成された陸地は2月11日と比較して東、南、西方向に拡大している。

なお、同乗した東京工業大学火山流体研究センターの野上教授から「溶岩の流出が続き、噴出口が増えていることなどから、マグマの供給は継続しており、島の成長はしばらくの間続くものと見込まれる。」とのコメントが得られた。

※3月24日時点での形状（暫定値）

- ・東西：約1150 m (2月11日時点 東西：約900 m)
- ・南北：約850 m (2月11日時点 南北：約750 m)
- ・面積：約0.7平方km、東京ドームの約15倍に相当
(2月11日時点 約0.45平方km 東京ドームの約9.5倍)



図1 火口から立ち上がる噴煙と拡大した西之島（3月24日撮影）



図2 活発に活動する火口（3月24日撮影）



図3 西之島の全景写真（3月24日撮影）

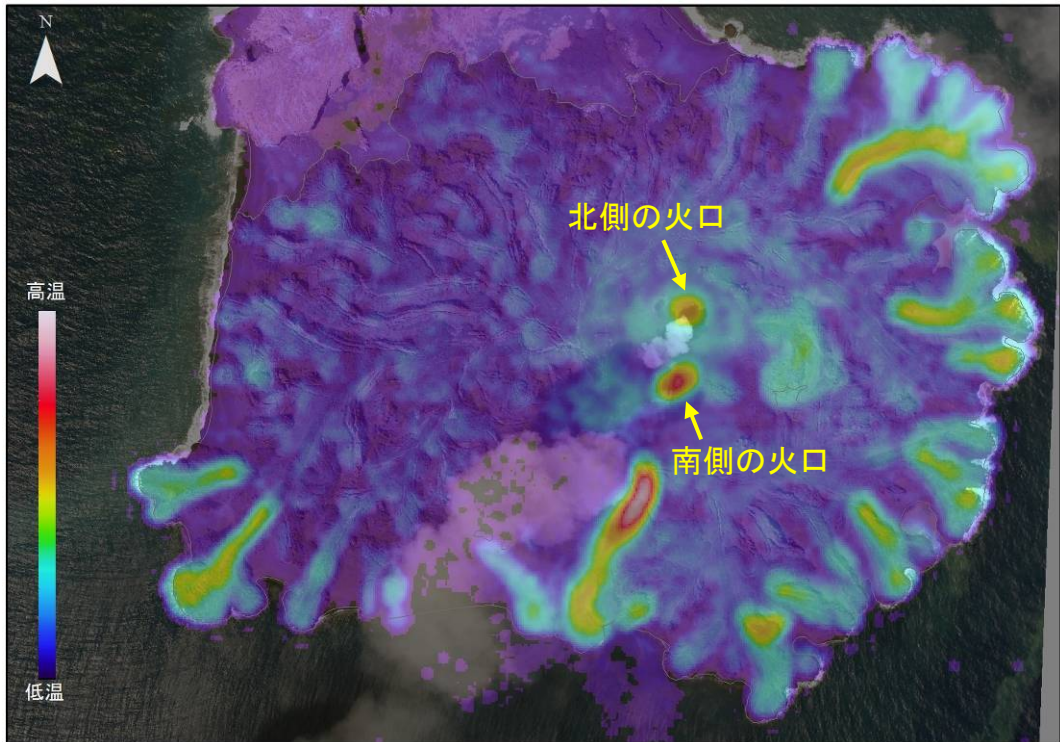


図4 熱画像の解析結果。火口や溶岩流による高温部が認められる。(3月24日撮影)

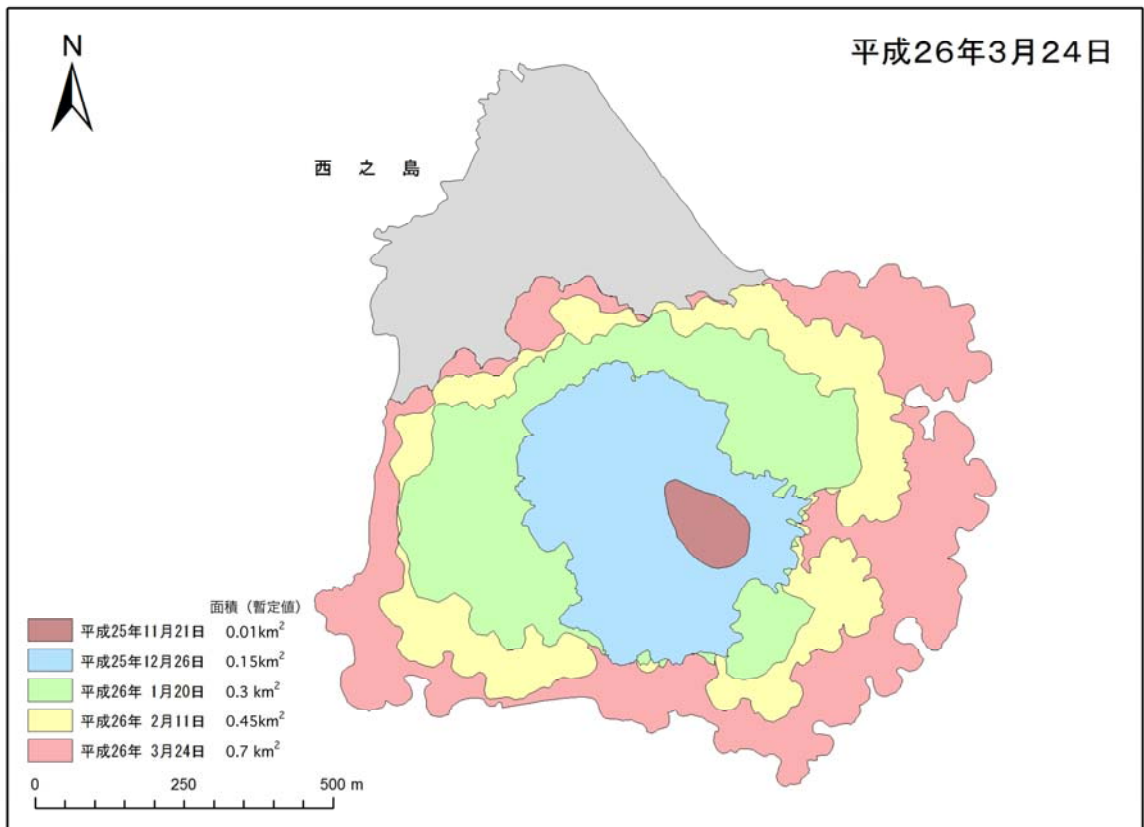


図5 新たに形成された陸地部分の形状変化の様子